

政権選択選挙とメディア

■基調検証報告

山口二郎（北大大学院教授、メディア・アンビシャス世話人代表）

■シンポジウム

<パネラー>

山口二郎

高井潔司（北大大学院国際広報メディア観光学院教授）

北野宏明（北海道新聞編集本部長）

及川純（UHB報道局長）

<司会>

中島岳志（北大大学院准教授）

9月8日(火)

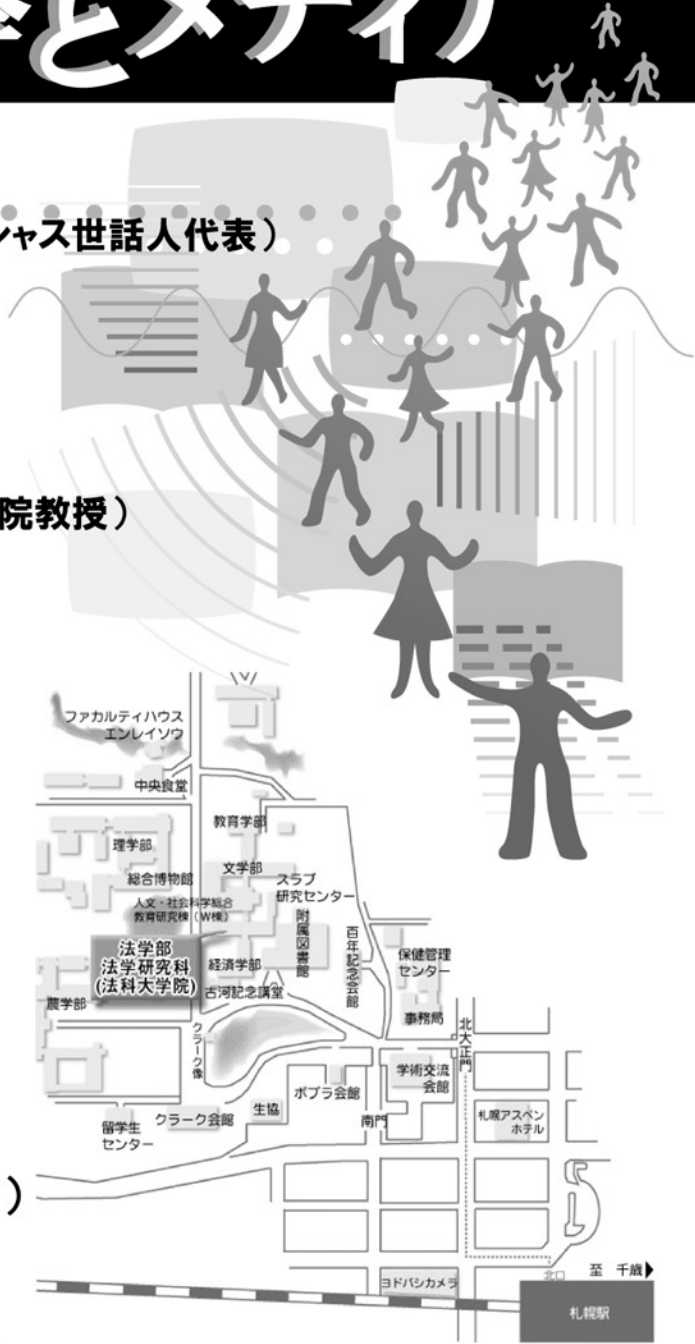
18:30～（開場18:00）

入場無料

北海道大学

法学部W203教室（北区北9西7）

※予約などは要りません。当日直接会場にお越しください。



戦後の日本政治の歴史の中で、初めて国民自身の手によって政権の行方を決する選挙が行われています。この選挙では、各党がマニフェスト(政権政策)を示し、選挙戦における政策論争のあり方も、従来のものからは大きく変化しました。

この選挙では、テレビや新聞などメディアが大きな役割を果たしました。2005年9月の小泉劇場と言われた総選挙と比べて、今回の選挙をめぐる報道の仕方はどのように変わったのか。そのことは国民の選択にどのように影響を与えたのか。

テレビや新聞の当事者も交えて、政権選択選挙をメディアがどう論じ、報道したかを振り返り、予想される政権交代後、メディアもまた、どのように変化するのか、一緒に考えてみたいと思います。

8月24日 山口二郎



主催 メディア・アンビシャス

問合せ シアターキノ 中島 090-7649-9808